

予算・決算特別委員会

当委員会に付託された3議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和3年度千代田区一般会計補正予算第3号」は、「私立保育所等運営補助」、「総合支援事業」、「地域生活支援事業」、「生活環境改善推進」、「小規模事業者緊急経営支援事業」に関する経費及び「予備費」を追加計上したものです。

＜審査経過＞

質疑の中で、私立保育所等の運営事業者が心配なくしっかり保育ができるよう、児童が笑顔で毎日保育園に通えるよう、今後とも努力していきたいと区が考えていること。

小規模事業者緊急経営支援事業について、商工会議所や区内の金融機関などと連携しながら、多くの方に幅広く利用されるように周知活動を強化し、今後も、小規模事業者に対して手厚い支援をするような事業展開をしていきたいと区が考えていること。

(仮称)四番町公共施設整備について、区が今後も全庁的に取り組んでいきたいと考えていること。

などが明らかになりました。

「令和3年度千代田区一般会計補正予算第4号」は、「感染症予防・医療対策」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」に要する経費を追加計上したものです。

＜審査経過＞

質疑の中で、感染症予防・医療対策については、自宅療養者等への支援に関して、保健所から訪問看護ステーションに健康観察を依頼した自宅療養者の状況報告を必ずその日のうちに訪問看護ステーションから受けることになっている。訪問看護ステーションから連絡がつかない自宅療養者がいた場合は、保健所が対応すること等が明らかになりました。

質疑を終了し、採決の結果、いずれも賛成全員により可決すべきものと決定しました。



「令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、多数の事項の質疑が行われ、総括質疑、討論に入り、次のような意見がありました。

＜討論＞

【反対の意見】

区民福祉の向上につながる重要な施策があることは評価するが、東京への一極集中を加速する流れが継続している。また、住民合意形成の努力が不十分なまま事業が進められている。さらに、新自由主義が貧困と格差を広げる中、その是正のための施策が弱く、弱者への支援が不十分であるため、反対する。(牛尾)

区が新型コロナウイルス感染症対策に誠心誠意取り組んでいることに敬意を表すが、区政における協働と参画ができていない。区が公有地や公共施設を後世に引き継ぐことを先送りし、再開発を進めることを先行させ、区民の土地、財産を

軽んじて安易な等価交換を進めようとしていることが明らかとなり、区民利益に反するため、反対する。(小枝)

区が新型コロナウイルス感染症対策に懸命に取り組んでいることには感謝するが、質疑を通じて、何か月もの間、課された宿題を未だに解決しておらず、区民に寄り添う姿勢が見られない。区民を見ないでただ突き進むだけのように感じられたため、総合的に勘案し、反対する。(岩田)

補助金交付基準について、公益性、必要性、公正性、客観性、透明性、公平性の視点を区が整理できないまま、補助金が交付されていることは、区民に対しての公表義務や区民の知る権利を阻害している。区有財産を含む外神田、飯田橋の再開発計画についても、区民への説明不足が明らかである。不信感を抱かれないよう透明性を求め、反対する。(長谷川)

【賛成の意見】

令和2年度決算については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、団体支援や個人の生活支援、ICT教育の推進など、補正予算を逐次組みながら、区民の命と生活を守ることができたことを評価する。質疑に対してそれぞれ前向きな答弁があったが、来年度予算に反映することを要望し、賛成する。(米田)

区民の財産・生命を守るため、2年前の豪雨時の経験を踏まえた改善が進んでいない避難所運営協議会について早期に対応することに加え、新型コロナウイルス感染症対策について、必ず来るといわれる第6波に向けた対策の準備をはじめ、区民生活、地域経済を守るため、全庁を挙げて、議会と連携して迅速に対応していくことを求め、賛成する。(大坂)

2020年度は、感染症対策・臨時休校やリモートワークへの対応等、新型コロナウイルス感染症から区民の命と生活を守るための予算執行となった。各事業者への運営補助については、災害時であっても公平性、公正性、客観性が求められることを改めて確認し、今後も適正で効率的な執行に努めることを求め、賛成する。(岩佐)

令和2年度の執行率の全体的な傾向から、先の見えないコロナ禍で状況を見つつ、臨機応変に対応したことが読み取れた。振り返りと共に課題感も共有できた。今後よりよい区政運営に向けた検討や調整を求め、賛成する。(小野)

討論を終了し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算額

(単位：円)

会計	歳入	歳出	差額
一般会計	79,350,132,042	76,528,868,511	2,821,263,531
国民健康保険事業会	6,584,060,394	5,223,813,391	1,360,247,003
介護保険特別会	4,206,368,594	3,841,475,442	364,893,152
後期高齢者医療特別会	1,775,449,759	1,669,366,091	106,083,668
合計	91,916,010,789	87,263,523,435	4,652,487,354